

4

第19回菊川Cityマラソン

年ぶりに、冬の菊川を市民ランナーが駆け抜ける



1 2 3 スタートの合図で一斉に駆け出すランナー 4 親子で手を繋ぎガッツポーズをしながらゴール 5 沿道から家族や友人が声援を送る様子 6 完走証を持って記念撮影

12月17日、第19回菊川Cityマラソンが4年ぶりに開催され、市内外からおよそ600人が参加しました。今年は、従来のコースから車道の少ない安全な道へ変更。参加者は沿道からの声援を受けながら、楽しく安全に、冬の菊川を駆け抜けました。

小学2年生までの子どもと保護者が一緒に1kmを走る親子ペアの部では、参加した親子が手をつなぎ、互いに励まし合いながらゴールを目指しました。他にも小学3年生から6年生までの2kmの部、中学生女子の3kmの部、中学生男子から一般までの5kmの部、高校生男子から一般までの10kmの部など5種目20部門が行われ、参加者は自己ベストを目指したり、入賞を狙ったりと軽快な走りを見せました。

地

地域防災訓練

域と行政で高める防災力

12月3日、市内各地区で自主防災組織を主体とした地域防災訓練が行われました。今回は、市内で震度7の大型地震が発生したことを想定し、市内各所で訓練が実施されました。市役所では各班の役割や行動の再確認を行ったほか、あかっちクリニックでは救護所開設訓練が行われるなど、災害時に適切な行動がとれるよう職員一丸となり真剣に取り組みました。また岳洋中学校の生徒が各自治会の訓練に参加し、自分たちが学んだ防災に関する知識を披露しました。



1 岳洋中生徒が三角巾の使い方を披露 2 トリアージ訓練の様子

半

菊川市交通指導隊50周年記念式典

世紀にわたる活動に感謝

12月1日、プラザきくろで、菊川市交通指導隊50周年記念式典が開催されました。同隊は、児童生徒の通学時の街頭指導を中心に、交通誘導や自転車の安全な乗り方教室を実施するなど交通安全啓発活動を行っています。式典には隊員49人と長谷川寛彦市長、竹下貢菊川警察署長が参加し、地域に根差した交通安全活動の半世紀にわたる継続を祝いました。また、これまでの功績が認められ、市長から隊長へ、警察署長から副隊長へ、それぞれ感謝状が手渡されました。



▲安全安心なまちづくりの一翼を担う隊員